茨城の教育

２０２６年9月２４日
第１２０３号
茨城県高等学校教職員組合

サマーセミナー　専門部活動と「教師の働きがい」を交流

～学びと語り合いを通じて仲間のつながりを深める～

茨高教組は8月2日、「筑波ふれあいの里」でサマーセミナーを開催し、12人が参加しました。

今回のセミナーは、午前中に分会・専門部交流会、続いて「教師の働きがい」をテーマとしたミニ学習会、午後には青年部企画のバーベキューを実施し、各専門部の活動や教育現場の課題を交流するとともに、参加者同士の親睦を深める充実した一日となりました。

午前の専門部交流会では、それぞれの専門部が取り組んでいる運動や職場の実態について報告が行われました。

臨時教職員部からは、給料表1級の上限 73 号が撤廃された一方で、60 歳以降に再び 73 号へ戻される仕組みの改善を求めていくことが報告されました。また、勤務条件告知書への休暇日数明記を要求事項として掲げたことや、今年度から始まった講師経験者特別選考枠区分Bについて、「他区分との併願ができないため利用しにくい」といった講師からの声が紹介され、制度改善の必要性が共有されました。

障害児学校部では、グループラインを活用した情報交換が定着していることや、超過勤務、持ち帰り仕事、勤務時間の過少申告など、依然として深刻な働き方の実態が報告されました。また、県南・鹿行地区における教室不足や学校の過密化問題についても意見が交わされ、10月3日(土)に土浦市の県南生涯学習センターで開催される全教障教部関東甲越ブロック学習交流集会への参加が呼びかけられました。

現業職員部からは学校へのエアコン設置状況や、兵庫県・秋田県で現業職員の新規採用が行われていることが紹介されました。

実習教員部では、約 350 人の実習助手の半数近くが臨時職員となっている現状や、「実習教諭」への職名変更を求める運動が報告されました。

定時制・通信制部からは、毎月オンライン会議を継続していることや、全国定通大会で卒業生がパネラーとして発言した実践が紹介され、各専門部が特色ある活動を進めていることが共有されました。



続いて行われたミニ学習会では、「教師の働きがい」をテーマに茎崎高校の國井先生が自身の経験を交えながら報告しました。その後の交流では、参加者一人ひとりが教職の魅力について率直な思いを語り合いました。

参加者からは、「学校には多様な価値観があり、日々新しい学びがあることが教師の魅力」、「生徒の前に立つと一日があっという間に過ぎ、元気をもらえる」といった声が出されました。また、「後輩を大切に育てることが、後輩にとっての誇りとなり、自分自身のやりがいにもつながる」、「卒業式の感動は何度経験しても特別であり、卒業後も生徒が先生を覚えていてくれることが何よりうれしい」といった経験も紹介されました。

さらに、「久しぶりに卒業生と再会した際、想像以上にたくましく成長している姿を見て教師になって良かったと実感した」、「生徒から『話を聞いてくれる先生』として記憶されることが教師の存在価値ではないか」との意見もありました。

教育活動には困難も多い一方で、生徒の成長に寄り添えることこそ教師ならではの喜びであることが改めて確認されました。

交流の中では、「教師は自分自身の仕事を比較的主体的に組み立てることができ、その中で工夫する楽しさがある」という意見も出されました。そして、こうした教師としてのやりがいや魅力を語り合い、共有していくことが、結果として組合活動への共感や仲間づくりにもつながるのではないかという意見で交流が締めくくられました。



午後のバーベキューでは、学校現場の様子や日頃の実践について和やかな雰囲気で交流が続きました。話をしていく中で、お互いに共通の知り合いの教職員がいることや、学校や地域を越えてさまざまなつながりがあることも分かりました。また、今後の連絡や情報共有の手段としてグループラインをさらに活用してはどうかという提案や、「このような交流企画を毎年続けてほしい」との声も寄せられました。

今回のサマーセミナーは、専門部活動の成果や課題を共有するだけでなく、「教師の働きがい」という原点について改めて語り合う貴重な機会となりました。学習と交流、そして親睦を通して参加者同士のつながりを深めることができ、今後の専門部活動や組合活動をさらに発展させるための大きな励みとなる一日となりました。

関東甲越ブロック学習交流集会

～インクルーシブ教育、ICT 教育、そして日々の実践から考える～

日時：令和8年10月3日㈯ 13：30～17：00
（受付 13：00～）
会場：県南生涯学習センター うらら
（土浦市大和町 9-1 ウララビル5F）
参加費：無料
記念講演「学校教育の現状と課題」
～不登校・特別支援教育から考える～
講師 穂積妙子さん
分科会
①多様な学びとインクルーシブ教育
②教育DXとどう向き合う？
-現場の実践から考える光と影-
③みんなで語ろう「子どもたちと過ごす楽しさと喜び、そしてたいへんさ」

発　行
茨城県高等学校教職員組合
水戸市平須町１－９３
TEL 029-305-3075
FAX 029-305-3317
mail:iba-kou@ihsfu.net

あなたも組合へ
https://ihsfu.net